

日本国際経済学会ニュース

発行：日本国際経済学会本部（2014年10月26日より下記へ移転）

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学商学部 大東一郎研究室気付

日本国際経済学会本部事務局

Tel：03-5418-6707（大東一郎研究室） Fax：03-5418-6707（大東一郎研究室）

E-mail：head-office@jsie.jp

新会長挨拶

学会創立趣意書を読み返して

日本国際経済学会 会長
石川 城太

日本国際経済学会は、1950年に矢内原忠雄先生（東京大学）と名和統一先生（大阪市立大学）の呼びかけにより、国際経済の研究を主たる目的として設立されました。学会創立趣意書には、「研究の成果を一層有効適切ならしめるためには、研究者相互の連絡と親睦をはかり、研究上における協同の実をあげ、相互に切磋琢磨する機会をもつことの必要が痛感させられる。（中略）国際経済の分野における学問的開拓及び進化を通じて、広く学問の進歩向上に寄与し、世界平和に貢献しよう」とあり、発起人の国際経済の研究に対する熱い思いが込められています。

趣意書を読みながら、一研究者として初心に戻って純粋な気持ちで研究に打ち込まなければならないという思いと同時に、会長として発起人の意志を受け継いで学会を益々発展させていかななければならないという思いを強く致しました。ただ、前者に関しては、自分自身が精進すればできることですが、後者に関しては、私一人の力では達成することはできません。会員の皆様のご協力を是非ともお願いしたいと存じます。

今後2年間は、特に2つのことに力を注ぐ所存です。1つは、若手の育成です。私自身も大学院生の時からこの学会にお世話になりました。大学院生を含む若手研究者に積極的に学会に参加してもらうことで、学会を活性化するとともに新たな後継者を育てて学会を今後も発展させていくことが肝要です。もう1つは、学会の情報発進力の強化です。特にインターネットなどを駆使して国際的な発進力を強化し、学会のさらなる国際化に努めたいと思います。

会員の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2014年11月20日

日本国際経済学会ニュース 2015/1/14 目次

◎新会長挨拶	1	◎役員名簿	7
◎平成26年度会員総会 議事録	2	◎役員の仕事分担	8
◎平成26年度小島清賞の決定と受賞について	5	◎The International Economyの完全電子化 および早期公開制度について（お知らせ）	9
◎平成26年度特定領域研究奨励賞（小田賞）の 決定と受賞について	5	◎平成26年度新入会者（追加）	10
◎平成25年度小島清基金決算について	5	◎平成27年度小島清賞について（お知らせ）	11
◎第5回春季大会プログラム委員会について	5	◎平成27年度特定領域研究奨励賞（小田賞） について（お知らせ）	11
◎第74回全国大会プログラム委員会について	5	◎本部・各支部事務所所在地	12
◎「全国大会」運営内規の改正	6		
◎日本国際経済学会の対外活動について	6		

平成 26 (2014) 年度 会員総会 議事録

第 1 日

日時：2014 年 10 月 25 日 (土) 13:00~13:20

会場：京都産業大学 5 号館 3 階 5303 教室

議長：岩本武和会長 (京都大学)

1. 平成 25 (2013) 年度事業報告について

岩本武和会長 (京都大学) より以下の通り報告があった。

- (1) 第 3 回春季大会開催 (2013 年 6 月 8 日 福岡大学)
- (2) 第 72 回全国大会開催 (2013 年 10 月 12-13 日 横浜国立大学)
- (3) 機関誌『国際経済 (日本国際経済学会研究年報)』第 64 巻発行
- (4) 機関誌『The International Economy』Vol. 16 発行
- (5) 第 8 回小島清賞各賞及び第 3 回特定領域研究奨励賞 (小田賞) の授賞
- (6) 韓国国際経済学会への研究者の派遣

2. 平成 25 (2013) 年度一般会計決算案について

神事直人理事 (京都大学) より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2014 年 9 月 24 日号参照】

3. 平成 25 (2013) 年度特別事業活動基金決算案について

神事直人理事 (京都大学) より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2014 年 9 月 24 日号参照】

4. 平成 25 (2013) 年度小島清基金決算案について (追加議題)

神事直人理事 (京都大学) より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2014 年 9 月 24 日号参照】

5. 平成 26 (2014) 年度事業案について

岩本武和会長 (京都大学) より以下の通り説明があり、審議した結果、これを承認した。

- (1) 第 4 回春季大会開催 (2014 年 6 月 7 日 法政大学)
- (2) 第 73 回全国大会開催 (2014 年 10 月 25-26 日 京都産業大学)
- (3) 機関誌『国際経済 (日本国際経済学会研究年報)』第 65 巻発行予定
- (4) 機関誌『The International Economy』Vol. 17, Vol. 18 発行予定
- (5) 第 9 回小島清賞各賞及び第 4 回特定領域研究奨励賞 (小田賞) の授賞
- (6) 韓国国際経済学会への研究者の派遣

6. 平成 26 (2014) 年度一般会計予算案について

神事直人理事 (京都大学) より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2014 年 9 月 24 日号参照】

7. 平成 26 (2014) 年度特別事業活動基金予算案について

神事直人理事 (京都大学) より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2014 年 9 月 24 日号参照】

8. 内規の改正について

神事直人理事 (京都大学) より標記について、「全国大会運営」内規の改正が報告された。【6 頁参照】

9. 新入会員の発表について

岩本武和会長 (京都大学) より標記について、2014 年 6 月 7 日の第 1 回理事会において 29 名の個人の入会と 1 名の個人の再入会、当日の第 2 回理事会において 11 名の個人の入会と 1 名の個人の再入会の申し込みが承認されたとの報告があった。【「日本国際経済学会ニュース」2014 年 9 月 24 日号および本号 10 頁参照】

10. 日本経済学会連合評議員の選出について
標記について岩本武和会長（京都大学）より説明があり、第23期[任期2014年4月～2017年3月]の日本経済学会連合評議員として、前期からの継続で馬田啓一常任理事（杏林大学）と浦田秀次郎監事（早稲田大学）を選出したことが報告された。
11. 幹事の追加について
標記について岩本武和会長（京都大学）より西山博幸氏（兵庫県立大学）を幹事として追加任命したことが報告された。
12. 第9回日本国際経済学会小島清賞研究奨励賞および優秀論文賞の受賞者の発表について
岩本武和会長（京都大学）より標記について、研究奨励賞には中西訓嗣氏（神戸大学）が選考され、優秀論文賞は該当者なしとの発表があった。【5頁参照】
13. 第4回日本国際経済学会特定領域研究奨励賞（小田賞）の受賞者の発表について
岩本武和会長（京都大学）より標記について、柳瀬明彦氏（名古屋大学）が選考されたとの発表があった。【5頁参照】
14. 平成26年度韓国国際経済学会派遣研究者について
岩本武和会長（京都大学）より標記について、大東一郎氏（慶應義塾大学）、寶多康弘氏（南山大学）、森田忠士氏（近畿大学）の3氏を派遣することが発表された。【6頁参照】
15. その他
岩本武和会長（京都大学）より寺町信雄委員長をはじめとする第73回全国大会準備委員会及び開催校である京都産業大学のスタッフに対して謝辞が述べられた。

第2日（10月26日）

日時：2014年10月26日（日）13時00分～13時20分

会場：京都産業大学 5号棟 3階 5303教室

議長：石川城太会長（一橋大学）

1. 新会長の発表について
岩本武和前会長（京都大学）より、理事会において石川城太副会長（一橋大学）が新会長に選任されたとの発表があった。
2. 新副会長の発表について
石川城太会長（一橋大学）より、理事会において中西訓嗣理事（神戸大学）が新副会長に選出されたとの発表があった。
3. 特命理事の発表について
石川城太会長（一橋大学）より、柴山千里氏（小樽商科大学）、趙来勲氏（神戸大学）の2氏を特命理事に指名したとの発表があった。また、今後、特命理事を追加する可能性があるとの説明があった。
4. 新常任理事の発表について
石川城太会長（一橋大学）より、青木浩治理事（甲南大学）、馬田啓一理事（杏林大学）、浦田秀次郎理事（早稲田大学）、遠藤正寛理事（慶應義塾大学）、岡本久之理事（兵庫県立大学）、近藤健児理事（中京大学）、櫻井公人理事（立教大学）、中本悟理事（立命館大学）、春名章二理事（岡山大学）、古沢泰治理事（一橋大学）の10氏に常任理事を委嘱したとの発表があった。
5. 新幹事の発表について
石川城太会長（一橋大学）より、伊藤恵子氏（専修大学）、乾友彦氏（学習院大学）、川野祐司氏（東洋大学）、清田耕造氏（慶應義塾大学）、澤田康幸氏（東京大学）、芹澤伸子氏（新潟大学）、古川純子氏（聖心女子大学）（以上、関東支部所属）、太田代幸雄氏（南山大学）、川端康氏（名古屋市立大学）、伊澤俊泰氏（名古屋学院大学）（以上、中部支部所属）、伊田昌弘氏（阪南大学）、川越吉孝氏（京都産業大学）、斉藤宗之氏（奈

良県立大学)、柴田孝氏(大阪商業大学)、立石剛氏(西南学院大学)、西山博幸氏(兵庫県立大学)、松永達氏(福岡大学)、丸山佐和子氏(神戸大学)(以上、関西支部所属)の18氏に幹事を委嘱すること、ならびに清田耕造幹事(慶應義塾大学)に常任幹事を委嘱したとの発表があった。また、今後、幹事を追加する可能性があるとの説明があった。

6. 新監事の決定について(審議事項)
石川城太会長(一橋大学)より、小川英治氏(一橋大学)、柳原光芳氏(名古屋大学)、広瀬憲三氏(関西学院大学)の3氏を監事とすることが提案され、審議の結果これを承認した。
7. 新本部事務局の発表について
石川城太会長(一橋大学)より、大東一郎理事(慶應義塾大学)研究室を新本部事務局とするとの発表があった。
8. 新本部業務の役割分担について
石川城太会長(一橋大学)より標記について、後日決定し「日本国際経済学会ニュース」を通じて発表することとした。【8頁参照】
9. 第5回春季大会(2015年)の開催機関について
石川城太会長(一橋大学)より標記について、阪南大学を開催機関とすることが発表された。春季大会準備委員会委員長井上博理事(阪南大学)より挨拶があった。【5頁参照】
10. 第74回全国大会(2015年)の開催機関について
石川城太会長(一橋大学)より標記について、開催機関は調整中であり、後日決定し「日本国際経済学会ニュース」を通じて発表することとした。【5頁参照】
11. 第74回全国大会「プログラム委員会」の委員長の発表について
石川城太会長(一橋大学)より標記について、蓬田守弘理事(上智大学)を委員長に任命するとの発表があった。他の委員については、後日指名の上「日本国際経済学会ニュース」を通じて発表することとした。【5頁参照】
12. 「小島清基金運営委員会」の委員長および委員の発表について
石川城太会長(一橋大学)より、小島清基金運営委員会の委員長に岩本武和前会長(京都大学)を、委員に阿部顕三顧問(大阪大学)、浦田秀次郎常任理事(早稲田大学)、大川昌幸氏(立命館大学)、神事直人理事(京都大学)、多和田眞氏(愛知学院大学)、古沢泰治常任理事(一橋大学)の6氏を任命すること、ならびに神事直人理事(京都大学)に事務局長を委嘱することが発表された。
13. 「特定領域研究奨励賞(小田賞)審査委員会」の委員長および委員の発表について
石川城太会長(一橋大学)より標記について、石川城太会長(一橋大学)が委員長に就任し、富浦英一理事(横浜国立大学)、近藤健児常任理事(中京大学)、春名章二理事(岡山大学)の3氏を同委員会の委員に委嘱することが発表された。
14. 顧問の就任依頼について
石川城太会長(一橋大学)より、理事会において岩本武和前会長(京都大学)が顧問に推挙され、承認されたとの報告があった。
15. その他
第73回全国大会実行委員会委員長寺町信雄特命理事(京都産業大学)より挨拶があった。

平成 26 年度小島清賞各賞の決定と受賞について

2014 年 4 月 1 日の電子メールでの持ち回り審議を経て、2014 年 7 月 6 日に日本国際経済学会 小島清賞選考委員会が開催され、以下の通り各賞の授賞が決定されました。また、京都産業大学で開催された第 73 回全国大会 2 日目（10 月 26 日）に研究奨励賞授賞式が執り行われ、中西訓嗣先生の受賞記念講演が行われました。

1. 研究奨励賞：中西訓嗣氏（神戸大学）
2. 優秀論文賞：該当者なし

平成 26 年度特定領域研究奨励賞（小田賞）の決定と受賞について

日本国際経済学会 特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会は、慎重な審議の結果、柳瀬明彦氏（名古屋大学）を本賞の第 4 回受賞者とするに致しました。京都産業大学で開催された第 73 回全国大会 2 日目（10 月 26 日）に授賞式を執り行いました。

平成 25 年度小島清基金決算について

平成 26 年度会員総会第 1 日目（2014 年 10 月 25 日）において、平成 25 年度小島清基金決算が承認されました。なお、決算内容につきましては「日本国際経済学会ニュース」2014 年 9 月 24 日号をご参照下さい。

第 5 回春季大会プログラム委員会について

第 5 回春季大会は、2015 年 6 月 13 日（土）に阪南大学で開催されます。第 5 回春季大会のプログラム委員会は伊田昌弘氏（阪南大学、委員長）、青木浩治氏（甲南大学）、柴田孝氏（大阪商業大学）、高橋信弘氏（大阪市立大学）、中本悟氏（立命館大学）の 5 名の委員で構成されることに決まりました。

第 74 回全国大会プログラム委員会について

第 74 回全国大会は、2015 年 11 月 7 日（土）、8 日（日）に専修大学で開催されます。第 74 回全国大会のプログラム委員会は蓬田守弘氏（上智大学、委員長）、伊藤萬里氏（専修大学）、鳴瀬成洋氏（神奈川大学）、太田代幸雄氏（南山大学）、石田修氏（九州大学）、北野重人氏（神戸大学）、斉藤宗之氏（奈良県立大学）の 7 名の委員で構成されることに決まりました。

「全国大会運営」内規の改正

【旧】	【新】
<p><<1~7 省略>></p> <p>8. 学生会員の全国大会報告</p> <p>学生会員の研究報告は、<u>原則として支部研究報告会と支部大会・総会とする。ただし、指導教員からの客観的な業績などに基づく推薦文書（正会員による推薦文書の場合も考慮の対象とする）</u>があり、プログラム委員会がそれを認めた場合には、全国大会報告が可能である。</p>	<p><<1~7 省略>></p> <p>8. 学生会員の全国大会報告</p> <p>学生会員は、<u>指導教員または正会員からの推薦</u>があり、プログラム委員会がそれを認めた場合には、全国大会報告が可能である。<u>その場合、推薦者本人の了承を得た上で、報告申込の際に推薦者名を記載し、プログラムにも推薦者名を併記する。</u></p>

改正の理由：全国大会の内規であるので、全国大会以外に言及している箇所は不要と考えられる。また、指導教員または正会員からの推薦について、推薦書の添付ではなく推薦者本人の了承を前提に報告申込の際に推薦者名を明記することで手続きを簡略化する一方、プログラムに推薦者名を併記することで安易な推薦を抑制できると考えられるため。

日本国際経済学会の対外活動について

日本・韓国国際経済学会学術交流協定に基づき、2014年12月19日（金）に同徳女子大学校において開催された2014年度韓国国際経済学会・冬季学術発表大会に石川城太会長、中西訓嗣副会長、岩本武和顧問および研究報告者として以下の会員の方々が派遣されました。

報告者：

- 大東 一郎氏(慶應義塾大学) “Macroeconomic Dynamics of Underdeveloped Societies: Indeterminacy and Bifurcation due to Productive-Consumption Externality”
- 寶多 康弘氏(南山大学) “Trade, Transportation, and the Environment: Welfare Effects of Emissions Reductions and International Emissions Trading”
- 森田 忠士氏(近畿大学) “Trade Integration, Welfare and Horizontal Multinationals: a three-country model”

●ASEAN経済共同体の実像と将来！
深沢淳一・助川成也 著
メガ
本体2200円

ASEAN大市場統合と日本
—TPP時代を日本企業が生き抜くには、通商環境が激変する中、日本企業は東アジア戦略の舵をどう切り、今後どう展開していくべきなのかを分析。ASEAN経済共同体(AEC)の死角から東アジア大統合の展望まで全てわかる。ビジネス関係者、学生、研究者から政府関係者まで必読の1冊。
●成長センターASEAN経済共同体の重要テーマを説く！
石川幸一・清水一史・助川成也 編著
本体2600円

ASEAN経済共同体と日本
—巨大統合市場の誕生。二〇一五年、ASEAN経済共同体が創設される。完成すれば中国やインドにも対抗する経済圏となり、日本にとっても最重要の地域となる。日本とASEANとの関係は四〇年を迎え、その経済関係を戦略的に見直す時期にきている。各分野の専門家が統合の状況、課題、実現への展望などを検討。
●2014年、日本の投資はどこへ向かうのか？
春日尚雄 著
本体2400円

ASEANが進む日系企業
—統合一体化するメコン地域。近年、海外進出企業は集中のメロッドを優先し、リスク分散を図る必要を軽んじていた感がある。日本企業はASEAN、特にメコン地域への投資の比重を増やす行動が起きつつある。GMS(拡大メコン経済圏)で、日系グローバル企業を中心に産業の集積と分散がどのように起きているかを論じる。
●東南アジアのエネルギーの最新情報満載！
武石礼司 著
本体2000円

●難航するTPP交渉の背景と争点を検証！
石川幸一・馬田啓一・波邊頼純 編著
本体2300円

TPP交渉の論点と日本
—国益をめぐる攻防。正念場を迎えたTPP交渉。日米をはじめ交渉参加12カ国はセンシティブな問題をめぐり激しく対立。関税撤廃、知的財産権、国有企業規律、投資(TISD条項)、環境など難航する交渉分野の主な争点は何か。合意への道筋をどう付けるのか。TPPの背景と交渉分野における主要な論点を取り上げる。

●発展するアジアの課題 発展を遂げてきた東南アジアの10カ国は、ASEANを形成して域内協力を深めており、日本にとり、重要な国々となってきている。ASEAN10カ国は、歴史、人口、気候、宗教、資源、産業も異なり、エネルギー供給への取り組みと政策も多様である。最新の現地情報、ASEANの現状と今後を解説する。

東南アジアのエネルギー
本体2000円



文眞堂
〒105-8505 東京都港区新橋区早稲田町五丁目3番1号
U P L I : http://www.bunshin-do.co.jp/

役員名簿（○印は新任）

会長（定員1名）

○石川 城太（一橋大学）

副会長（定員1名）

○中西 訓嗣（神戸大学）

常任理事（定員10名）

青木 浩治（甲南大学）

遠藤 正寛（慶應義塾大学）

櫻井 公人（立教大学）

古沢 泰治（一橋大学）

馬田 啓一（杏林大学）

岡本 久之（兵庫県立大学）

中本 悟（立命館大学）

○浦田秀次郎（早稲田大学）

○近藤 健児（中京大学）

○春名 章二（岡山大学）

理事（定員24名）

石田 修（九州大学）

大川 良文（滋賀大学）

小森谷徳純（中央大学）

大東 一郎（慶應義塾大学）

○竹野 忠弘（名古屋工業大学）

中嶋 慎治（松山大学）

○蓮見 雄（立正大学）

椋 寛（学習院大学）

板木 雅彦（立命館大学）

郭 洋春（立教大学）

神事 直人（京都大学）

○高橋 信弘（大阪市立大学）

○冨浦 英一（横浜国立大学）

○鳴瀬 成洋（神奈川大学）

○東田 啓作（関西学院大学）

○柳瀬 明彦（名古屋大学）

○井上 博（阪南大学）

○上川 孝夫（横浜国立大学）

○妹尾 裕彦（千葉大学）

武智 一貴（法政大学）

内藤 巧（早稲田大学）

新岡 智（関東学院大学）

増田 正人（法政大学）

蓬田 守弘（上智大学）

特命理事

○柴山 千里（小樽商科大学）

○伊藤 恵子（専修大学）

趙 来勲（神戸大学）

監事（若干名）

○小川 英治（一橋大学）

○柳原 光芳（名古屋大学）

○広瀬 憲三（関西学院大学）

幹事（定員約20名）

【関東支部】

○伊藤 萬里（専修大学）

○清田 耕造<常任>（慶應義塾大学）

○古川 純子（聖心女子大学）

乾 友彦（学習院大学）

○澤田 康幸（東京大学）

川野 祐司（東洋大学）

○芹澤 伸子（新潟大学）

【中部支部】

○伊澤 俊泰（名古屋学院大学）

太田代（唐澤）幸雄（南山大学）

川端 康（名古屋市立大学）

【関西支部】

○伊田 昌弘（阪南大学）

柴田 孝（大阪商業大学）

松永 達（福岡大学）

川越 吉孝（京都産業大学）

○立石 剛（西南学院大学）

丸山佐和子（神戸大学）

斉藤 宗之（奈良県立大学）

○西山 博幸（兵庫県立大学）

顧問

渡辺福太郎（学習院大学名誉教授）

井川 一宏（京都産業大学）

田中 素香（中央大学）

○岩本 武和（京都大学）

本山 美彦（大阪産業大学）

大山 道広（慶應義塾大学名誉教授）

阿部 顕三（大阪大学）

池間 誠（一橋大学名誉教授）

関下 稔（立命館大学）

木村 福成（慶應義塾大学）

役員の業務分担 (◎印は責任者)

	【関東支部】	【中部支部】	【関西支部】
本部関係			
<総務担当>			
常任理事	◎遠藤 正寛	近藤 健児	岡本 久之
理事	郭 洋春		神事 直人
	大東 一郎		
幹事			斉藤 宗之
<u>ニュース・HP</u>			
常任理事	◎櫻井 公人		
理事	小森谷徳純	柳瀬 明彦	大川 良文
	内藤 巧		
幹事		川端 康	伊田 昌弘
			川越 吉孝
<u>会員名簿</u>			
理事	◎鳴瀬 成洋	竹野 忠弘	板木 雅彦
	妹尾 裕彦		高橋 信弘
<財務担当>			
常任理事	◎富浦 英一		青木 浩治
理事	椋 寛	柳瀬 明彦	
幹事	清田 耕造		
<編集・出版担当>			
常任理事	◎古沢 泰治	近藤 健児	石田 修
理事			東田 啓作
幹事	澤田 康幸		柴田 孝
<企画・渉外担当>			
常任理事	◎馬田 啓一		中本 悟
特命理事	柴山 千里		趙 来勲
	伊藤 恵子		
理事	新岡 智	竹野 忠弘	春名 章二
	増田 正人		
	蓮見 雄		
<監査>			
監事	◎小川 英治	柳原 光芳	広瀬 憲三
支部関係			
常任理事	◎浦田秀次郎	近藤 健児	
理事	武智 一貴		井上 博
	蓬田 守弘		中嶋 慎治
	上川 孝夫		
幹事	乾 友彦	太田代(唐澤) 幸雄	立石 剛
	川野 祐司	伊澤 俊泰	西山 博幸
	芹澤 伸子		松永 達
	古川 純子		丸山佐和子
	伊藤 萬里		

出版委員会

委員長 ○古沢 泰治（一橋大学）
 副委員長 ○近藤 健児（中京大学）
 委員 青木浩治（甲南大学） 石田 修（九州大学） 浦田秀次郎（早稲田大学）
 大川昌幸（立命館大学） 小川英治（一橋大学） 櫻井公人（立教大学）
 中條誠一（中央大学） 中本悟（立命館大学） ○東田啓作（関西学院大学）
 藪内繁己（愛知大学）
 幹事 ○澤田 康幸（東京大学） 柴田 孝（大阪商業大学）

小島清基金運営委員会

委員長 ○岩本 武和（京都大学）
 委員 ○阿部 顕三（大阪大学） ○浦田秀次郎（早稲田大学） ○大川 昌幸（立命館大学）
 ○神事 直人（京都大学）＜事務局長＞
 ○多和田 眞（愛知学院大学） ○古沢 泰治（一橋大学）

特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会

委員長 ○石川 城太（一橋大学）
 委員 ○富浦 英一（横浜国立大学） 近藤 健児（中京大学） ○春名 章二（岡山大学）

その他日本国際経済学会関係者

日本経済学会連合評議員 馬田 啓一（杏林大学） 浦田秀次郎（早稲田大学）

The International Economy の完全電子化および早期公開制度について （お知らせ）

近年のインターネットの発達によって情報の発信・流通の様相は大きな変革を遂げてきました。学術の世界においても、大学等の研究機関が構築しているリポジトリ、学術的ソーシャル・ネットワーク・サービスによるワーキングペーパー等の配信サービス、そしてもちろん多くの出版社による電子ジャーナルの刊行などを通じて、知識普及・共有のグローバル化と高速化とが急速に進展しています。

こうした流れの中で、会員の皆様の研究成果を世界に向けて広く発信する窓口としての便宜向上を図り、もって当会の学問的訴求力を一層高めるために、英文機関誌 The International Economy について、次回刊行分より完全電子ジャーナル化し、従来の冊子体は廃止することを決定いたしました。電子ジャーナル化した The International Economy は、これまでの電子版と同様に科学技術振興機構の運営する J-STAGE 上に掲載いたします。J-STAGE は Google Scholar 等のインターネット検索エンジンとの連携によって、国内・海外から多くのアクセスを得ています。

また、電子ジャーナルの性質と J-STAGE における早期公開制度を活用して、採択された投稿論文については随時「早期公開版」を J-STAGE 上に公表していきます。従来、基本的に冊子体は年 1 回の刊行であったため、投稿論文の採択から刊行までに大きなタイムラグの生じることがありました。投稿者・会員の皆様にご不便をおかけしてまいりましたが、早期公開制度の活用によって採択された論文をほとんどタイムラグなしで公表していくことが可能となります。また、2011 年の電子版創設時より早期公開制度を導入しておりましたが、周知されるに至っておりませんでした。そこで、早期公開制度に対する会員の皆様のご理解を促すため、The International Economy の完全電子ジャーナル化を期に改めてお知らせする次第です（なお、早期公開制度は邦文機関誌『国際経済』においても利用されております）。

The International Economy および『国際経済』両誌への皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

日本国際経済学会出版委員会委員長 古沢泰治

平成 26 年度新入会者（追加）

※個人情報保護のため削除しました。

世界経済評論 WORLD ECONOMIC REVIEW

■2015 年 1/2 月号 終刊号 (2015 年 1 月 30 日発売)

総特集◎第 7 回白馬会議 21 世紀世界と日本の挑戦 — この国の役割と可能性を問う

炎の行政改革—地方から日本を変えるリーダーシップ

上田清司 (埼玉県知事)

アベノミクスと世界経済—直視すべき現実と目指すべき活路

齋藤 進 (三極経済研究所代表取締役)

人口減少と日本社会—問われる国のかたち

加藤久和 (明治大学教授・日本創世会議メンバー)

世界技術競争と日本産業—信大ナノテク研究の現場から

鶴岡秀志 (信州大学 Ph.D. アクア・イノベーション拠点研究員)

〔コメント〕 岡本恵也 / 平尾勇 / 武者陵司 〔スピーチ〕 新将命 / 戸所隆 / 鷺尾友春 / 小島明 ほか

終刊号へのメッセージ

〈B5 判・72 頁 / 定価 1260 円〉

WEB コラム「世界経済評論 IMPACT」好評発信中！

一般社団法人 世界経済研究協会

TEL:03-6423-0057/FAX:03-6423-0056 <http://www.sekaikeizai.or.jp>

平成 27 年度（第 10 回）小島清賞について（お知らせ）

日本国際経済学会・小島清基金運営委員会委員長
岩本 武和

日本国際経済学会小島清基金運営委員会では、平成 27 年度（第 10 回）小島清賞の受賞者選考に際しまして、学会員の皆様からの推薦（自薦を含む）という形で候補者に関する情報を幅広く受け付けています。小島清賞には研究奨励賞と優秀論文賞があります。詳しくは本学会ホームページをご覧ください。

以下の宛先まで「郵送」にて候補者に関する情報（推薦書）をお寄せください。推薦書には、候補者の氏名、所属、業績、その他小島賞への推薦理由となる事柄をお書きください。様式は自由です。また、情報提供者ご自身の氏名、所属、連絡先（電話、FAX、電子メール等）もあわせてお知らせください。なお、情報提供の締め切りは 2015 年 4 月 25 日（土）とします。

郵送先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学経済学研究科 神事直人研究室気付
日本国際経済学会 小島清基金運営委員会事務局

平成 27 年度（第 5 回）特定領域研究奨励賞（小田賞）について（お知らせ）

日本国際経済学会・特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会委員長
石川 城太

特定領域研究奨励賞（小田賞）は、「世界で活躍する国際経済学研究者を育成すること」を目的とし、次のような事業を内容とするものです（詳しくは学会ホームページをご覧ください）。

- (1) 国際貿易・貿易政策に関する優れた研究を行い、外国の査読付き雑誌に論文を掲載した学会員を顕彰する（審査対象論文は候補者の近刊および過去のすべてのものを含む）。
- (2) 受賞者は受賞年度 3 月末の時点で 45 歳以下とし、原則として毎年 1 名とする。
- (3) 受賞者には賞金 10 万円を授与する。
- (4) 本事業は平成 22 年 10 月よりおおむね 10 年を目処として実施する。

候補者は、自薦または審査委員会の推薦により、選ぶものとされています。自薦いただける方は、2015 年 5 月末日までに、論文および略歴・業績表を、審査委員長（石川城太：head-office@jsie.jp）宛お送りください。

本部・各支部事務所所在地（注：※印付は新しい事務局所在地）

- ※【本 部】 日本国際経済学会 本部事務局
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学商学部 大東一郎研究室気付
Tel&Fax: 03-5418-6707 (大東一郎研究室)
E-mail: head-office@jsie.jp
- ※【関東支部】 日本国際経済学会 関東支部事務局
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学経済学部 蓬田守弘研究室気付
Tel: 03-3238-3213 (直通) Fax: 03-3238-3086 (事務室)
E-mail: m-yomogi@sophia.ac.jp
- ※【中部支部】 日本国際経済学会 中部支部事務局
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑 1
名古屋市立大学大学院経済学研究科 川端康研究室
Tel: 052-872-5014 Fax: 052-872-5014
E-mail: jsie.chubu@gmail.com
- ※【関西支部】 日本国際経済学会 関西支部事務局
〒651-2197 兵庫県神戸市西区学園西町 8-2-1
兵庫県立大学経済学部 西山博幸研究室気付
Tel: 078-794-5969 (研究室直通)
E-mail: jsie-west@econ.u-hyogo.ac.jp

【日本国際経済学会ホームページ】

<http://www.jsie.jp/>

【学協会サポートセンター】

〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502

Tel: 045-671-1525

Fax: 045-671-1935

E-mail: scs@gakkyokai.jp

【学協会サポートセンターホームページ】

<http://www.gakkyokai.jp/>

（住所変更の届け出等について）

所属機関や学会に届け出ている住所が変更になった場合は、直接、学協会サポートセンターへご連絡下さい。その際、所属機関の変更に伴って所属支部も変更される場合は、その旨も学協会サポートセンターへお申し出下さい。また、会員名簿記載事項に関する修正・追加・削除等につきましても学協会サポートセンターへご連絡下さい。なお、入会・退会のご希望につきましては、本部事務局までご連絡下さい。